お知らせ版

みんなでつくり　みんなをつなぐ

広報ひろさき

2021
12/15
No.380

岩木山百沢スキー場・そうまロマントピアスキー場 OPEN!!

▼営業期間（予定）

12月24日（金）～3月13日（日）

※12月24日（金）～1月14日（金）と土・日曜日、祝日は午前9時から営業。

【岩木山百沢スキー場】

▼営業時間

日	月	火	水	木	金	土
♠	♣	♦	♣	♦	♦	♥

▼市民リフト無料開放デー

①12月24日（金）
※午後5時から有料。
②2月27日（日）

【そうまロマントピアスキー場】

▼営業時間

日	月	火	水	木	金	土
♠	♦	♣	♦	♣	♦	♥

▼市民リフト無料開放デー

①12月24日（金）
※午後5時から有料。
②3月6日（日）

♠＝午前9時～午後5時
♣＝午前10時～午後5時
♥＝午前9時～午後9時（ナイター営業あり）
♦＝午前10時～午後9時（ナイター営業あり）

～共通事項～

○市内の小学生以下に限り、1月15日（土）および2月～3月の第2土曜日の午前9時～午後5時もリフト料金が無料になります。
○市民リフト無料開放デーには、市民であることがわかるもの（学校の名札、学生証、免許証など）の持参を。なお、降雪状況や新型コロナウイルスの感染状況により、実施できない場合があります。

▼2施設共通リフト料金　1回券＝250円（小人・シニア180円）／1日券＝2,600円（小人・シニア1,500円）
※このほか、4時間券、シーズン券などがあります。

■問い合わせ先　岩木山総合公園（☎83-2311）／岩木山百沢スキー場（☎83-2224）／そうまロマントピアスキー場（☎84-2020）

■昨年度から、大人＝中学生以上満65歳未満、小人＝小学生以下、シニア＝満65歳以上へと区分を変更しました。
■これに伴い、共通シーズン券のファミリー区分も変更し、小学生以下の子どもがいるご家庭はお買い求めやすくなりました。
■未就学児1人が大人またはシニア1人と一緒にリフトに乗車する際は、未就学児が無料となります。
■施設が実施する新型コロナウイルスの感染防止対策にご協力をお願いします。

市民スキー教室（岩木山百沢スキー場）

▼とき　12月29日（水）・30日（木）
午前10時30分～午後3時30分
▼内容　初心者、初級、中級、上級＆レーシング
▼対象　小学生以上で、自分の用具を持参し、現地集合ができる人＝70人
▼受講料　2,000円
※各自傷害保険に加入を。
▼申し込み方法　往復はがきに、住所・氏名（ふりがな）・年齢・電話番号・希望クラス（小・中学生の場合は保護者名と学年も）と、返信の宛名部分に申込者の住所・氏名を記入の上、12月21日（火・必着）までに、岩木スキークラブ（山本勝規さん、〒036-1313、五代字沼田11の1）へ郵送、または専用フォーム（QRコード）で申し込みを。

■問い合わせ・申込先　岩木スキークラブ（山本さん、☎090-2605-4663、午後6時～8時）

「広報ひろさき」録音版の配布を希望する人は障がい福祉課（☎40-7036）まで。

「広報ひろさき」をアプリで読めます！「マチイロ」で検索（iOS・Android対応）

市職員の
給与などの状況

市職員の給与などの状況についてお知らせします。詳しい内容は、人事課給与厚生係（市役所２階、☎35-1136）へお問い合わせください。
※市ホームページには、より詳しく掲載しているほか、職員の任免や勤務条件などの状況について公表する「人事行政の運営等の状況の公表」も掲載しています。

■人件費の状況（普通会計決算）

区　分	住民基本台帳人口	歳出額（A）	実質収支	人件費（B）	人件費率（B／A）	令和元年度人件費率
令和２年度	令和３年１月１日 16万8,479人	969億1,479万円	４億2,071万円	92億　245万円	9.50%	11.30%

（注）　人件費には、退職手当、共済費、特別職に支給される給料・報酬などを含みます。

■職員給与費の状況（普通会計決算）

区　分	職員数（A）	給　与　費				１人当たり給与費（B／A）
		給　料	職員手当	期末・勤勉手当	計（B）	
令和２年度	1,050人	36億5,808万円	５億6,897万円	13億3,375万円	55億6,079万円	529万6,000円

（注）　１．職員手当には退職手当を含みません／２．職員数は令和２年４月１日現在の人数です／３．給与費には任期付短時間勤務職員（再任用職員〈短時間勤務〉）の給与費が含まれており、職員数には当該職員、フルタイムの会計年度任用職員を含みません。

■職員の平均給料月額および平均給与月額、平均年齢の状況

（令和３年４月１日現在）

区　分	一　般　行　政　職			技　能　労　務　職		
	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
弘前市	29万3,817円	34万3,799円	40.9歳	25万9,456円	28万7,420円	55.5歳
国	32万5,827円	40万7,153円	43.0歳	28万6,947円	32万8,603円	50.9歳

■職員の初任給の状況

（令和３年４月１日現在）

区　分		弘前市	青森県	国
一般行政職	大学卒	18万2,200円	18万2,200円	18万2,200円
	高校卒	15万　600円	15万　600円	15万　600円
技能労務職	高校卒	14万7,900円	14万7,900円	―

■職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況

（令和３年４月１日現在）

区　分		経験年数10年	経験年数20年	経験年数25年	経験年数30年
一般行政職	大学卒	24万4,767円	32万　125円	36万5,688円	36万6,967円
	高校卒	21万4,850円	28万1,000円	32万　600円	36万1,600円
区　分		経験年数7年～11年	経験年数17年～21年	経験年数22年～26年	経験年数27年～31年
技能労務職	高校卒	―	―	28万7,633円	29万5,730円

■一般行政職の級別職員数の状況

（令和３年４月１日現在）

区　分		８級	７級	６級	５級	４級	３級	２級	１級	計
標準的な職務内容		部　長	部　長・課　長	課　長	課長補佐	課長補佐・主　幹	係　長・主　査	主　事	主　事	
職員数		11人	21人	41人	71人	97人	275人	162人	164人	842人
構成比		1.3%	2.5%	4.9%	8.4%	11.5%	32.7%	19.2%	19.5%	100.0%
参考	１年前の構成比	1.1%	1.9%	5.0%	7.5%	12.3%	31.0%	21.2%	20.0%	100.0%

■職員手当の状況①　退職手当

（令和３年４月１日現在）

弘前市			国		
基本額	退職日の基本給月額　×　退職理由別・勤続年数別支給率		基本額	退職日の基本給月額　×　退職理由別・勤続年数別支給率	
（支給率）	自己都合	勧奨・定年	（支給率）	自己都合	応募認定・定年
勤続20年	19.6695月分	24.586875月分	勤続20年	19.6695月分	24.586875月分
勤続25年	28.0395月分	33.27075　月分	勤続25年	28.0395月分	33.27075　月分
勤続35年	39.7575月分	47.709　　月分	勤続35年	39.7575月分	47.709　　月分
最高限度額	47.709　月分	47.709　　月分	最高限度額	47.709　月分	47.709　　月分
その他の加算措置	定年前早期退職特例措置 2％～20%加算		その他の加算措置	定年前早期退職特例措置 3％～45%加算	
退職時特別昇給	な　し		退職時特別昇給	な　し	
調整額	在職中の職責等による貢献度に基づく加算（０～５万9,550）円×60カ月		調整額	在職中の職責等による貢献度に基づく加算（０～９万5,400）円×60カ月	
１人当たり平均支給額	594万5,000円	2,016万9,000円			

（注）　１人当たり平均支給額は、令和２年度に退職した全職種に係る職員に支給された平均額です。

■職員手当の状況②　期末手当・勤勉手当

弘前市			国		
令和２年度支給割合			令和２年度支給割合		
	期末手当	勤勉手当		期末手当	勤勉手当
６月期	1.25(0.7　)月分	0.9(0.425)月分	６月期	1.3(0.725)月分	0.95(0.45)月分
12月期	1.20(0.7　)月分	0.9(0.425)月分	12月期	1.25(0.725)月分	0.95(0.45)月分
計	2.45(1.40)月分	1.80(0.85　)月分	計	2.55(1.45　)月分	1.90(0.90)月分
職制上の段階、職務の級等による加算措置	役職加算　５～20%		職制上の段階、職務の級等による加算措置	役職加算　５～20% 管理職加算　10～25%	

（注）（　）内は、再任用職員に係る支給割合です。

■職員手当の状況③　時間外勤務手当

令和２年度決算	支給実績	職員１人当たり支給年額
	２億2,016万円	19万7,000円

■職員手当の状況④　特殊勤務手当

区　分	支給額
支給職員１人当たり平均支給年額（令和２年度）	３万2,343円
職員全体に占める手当支給職員の割合	9.8%
区　分	手当の名称
手当の名称	高所作業手当
	死体処理手当
	有害物取扱手当
	道路上作業手当
	用地交渉等手当
	社会福祉手当
	清掃事業従事手当
	防疫作業手当
手当の種類（手当数）	８種類

■職員手当の状況⑤ その他の手当

（令和３年４月１日現在）

手当名	内容及び支給単価		国の制度との異同
扶養手当	①配偶者	6,500円	異
	②子	１万円	
	③その他	6,500円	
	※満15歳に達する日後の最初の４月１日から満22歳に達する日以後の最初の３月31日までにある子に加算となる額 １人につき5,000円		
住居手当	自ら居住するための住宅を借り受け一定額（１万2,000円）を超える家賃を支払っている職員に支給		異
	借家・借間（支給限度額）	２万7,000円	
通勤手当	通勤のため自動車や電車などを利用している職員に支給		同
	交通機関利用者…　実費、支給限度額５万5,000円		
	自家用車等使用者…　片道２km以上2,000円～　片道60km以上３万1,600円		

■特別職の報酬等の状況

（令和３年４月１日現在）

区　分		給料月額等
給料	市　長	103万5,000円（減額前）105万円
	副市長	85万1,000円（減額前）86万3,000円
	代表監査委員	55万円（減額前）55万8,000円
	教育長	73万8,000円（減額前）74万9,000円
報酬	議　長	61万円
	副議長	54万7,000円
	議　員	51万7,000円

区　分		令和２年度支給割合	
期末手当	市　長 副市長 代表監査委員 教育長	６月期	1.625月分
		12月期	1.575月分
		計	3.2月分
	議　長	６月期	1.625月分
	副議長	12月期	1.575月分
	議　員	計	3.2月分

■部門別職員数の状況と主な増減理由

（各年４月１日現在、単位は人、△は減）

区分／部門		職員数 令和2年	職員数 令和3年	対前年増減数	主な増減理由
一般行政部門	議　会	11	11	0	
	総務・企画	283	271	△12	事務の見直し等による減員、部門間調整
	税　務	77	76	△1	事務の民間委託による減員
	労　働	1	1	0	
	農林水産	72	76	4	部門間調整
	商　工	44	45	1	業務量増加による増員
	土　木	168	171	3	部門間調整
	民　生	143	137	△6	部門間調整
	衛　生	78	87	9	業務量増加による増員、部門間調整
	小　計	877	875	△2	
特別行政部門	教　育	173	169	△4	事務の見直し等による減員
	警　察	0	0	0	
	消　防	0	0	0	
	小　計	173	169	△4	
公営企業等	病　院	180	170	△10	退職不補充による減員
	水　道	56	56	0	
	交　通	0	0	0	
	下水道	38	38	0	
	その他	68	69	1	育児休業に伴う任期付代替職員の増員
	小　計	342	333	△9	
合　計		1,392	1,377	△15	

（注）　職員数は一般職に属する職員数であり、地方公務員の身分を有する休職者・派遣職員を含み、会計年度任用職員を除いています。

3回目の新型コロナウイルスワクチン接種券を発送（12月2日時点）

国の方針では、ワクチンの３回目接種は、２回目の接種が終了してから８カ月以上経過した人が対象となります。これを受けて市では、２回目の接種が完了した人に、終了後７カ月を経過した月に接種券を順次発送しています。12月に発送する対象などについては次のとおりです。

▼**対象**　令和３年５月に２回目のワクチンを接種した人（主に高齢者施設の入所者、従事者）

▼**接種券の発送時期**　12月下旬に、住民票上の住所へ発送します。

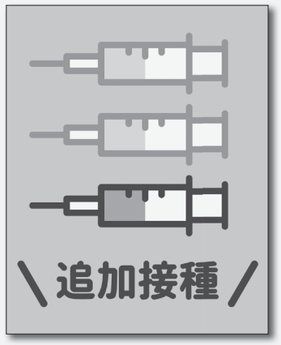
▼**接種場所**　原則として、前回接種した高齢者施設や医療機関で接種してください。

※詳しくは、各施設等へ確認してください。

▼**その他**　次の場合は、接種券が届きません。

①他の市区町村で２回接種した後に、弘前市へ転入した→市へ発行申請をしてください。

②接種券発送後に住民票所在地を変更した→変更後の住所地での再発行が必要です。市内で転居した場合は弘前市へ、市外へ転居した場合は転居先の自治体へ発行申請をしてください。



■**接種手続きなどに関する相談窓口**　弘前市新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター（☎0120-567-745、月～金曜日＝午前９時～午後８時、日曜日・祝日＝午前９時～午後５時、土曜日と12月29日〈水〉～１月３日〈月〉は休み）

皆さんの意見を市政に反映します

弘前市食品ロス削減推進計画（案）への意見募集（パブリックコメント）

国民運動として食品ロス削減を推進することを目的とする「食品ロスの削減の推進に関する法律」が令和元年10月に施行されました。この法律の趣旨を踏まえ、「弘前市食品ロス削減推進計画」の計画案がまとまりましたので、市民の皆さんから意見や提案を募集します。

▼**募集期限**　１月14日（金・必着）

▼**閲覧方法**

○市のホームページから閲覧

○次の場所での閲覧（土・日曜日、祝日および年末年始を除く、午前８時30分～午後５時）

環境課（市役所２階）、市役所総合案内所（市役所１階）、岩木総合支所総務課（賀田１丁目）、相馬総合支所民生課（五所字野沢）、市民課駅前分室（駅前町、ヒロロ３階）、市民課城東分室（末広４丁目、総合学習センター内）、各出張所

※市民課駅前分室は土・日曜日、祝日も閲覧可。

▼**対象**　①市内に住所を有する人、②市内に事務所または事業所を有する個人および法人など、③市内の事務所または事業所に勤務する人、④市内の学校に在学する人、⑤本市に対して納税義務を有する人または寄付を行う人、⑥本計画（案）に利害関係を有する人

▼**提出方法**　指定の記入用紙または任意様式に、氏名（法人等の場合は名称と代表者氏名）、住所、在住・在学の別（任意様式の場合は対象①～⑥のいずれか）、件名（任意様式のみ「弘前市食品ロス削減推進計画（案）への意見」など）を明記し、次のいずれかの方法で提出してください。

❶郵送…〒036-8551、上白銀町１の１、環境課宛て

❷環境課へ直接持参（土・日曜日、祝日、年末年始を除く）

❸ファクス…37-7271

❹Eメール… kankyou@city.hirosaki.lg.jp

❺「わたしのアイデアポスト」へ投函

※記入漏れがある場合や電話など口頭での意見は受け付けしません。

▼**意見の公表など**　寄せられた意見などは、計画策定の参考とするほか、後日集約し、氏名・住所を除き、対応状況を市ホームページで公表します。なお、個別の回答はしませんので、ご了承ください。

■**問い合わせ先**　環境課（☎32-1969）

事業の継続を支援します

タクシー及び運転代行事業者事業継続支援金

市では、新型コロナウイルス感染症の影響で、極めて深刻な状況となっているタクシーや運転代行事業者に事業継続の支援金を交付します。

▼**交付対象**　新型コロナウイルス感染症の影響で、令和３年４月～９月の間で、連続する２カ月の合計事業収入が、令和元年または令和２年の同月と比較して30％以上減少している事業者

※令和元年度の市税等に滞納がないことや今後も事業を継続する意思があることなどの条件あり。

▼**支援金の額**　申請時点で所有する車両台数に次の金額を乗じた額

①タクシー事業者＝国土交通省東北運輸局に登録し所有する事業用自動車１台につき７万5,000円

②運転代行事業者＝青森県公安委員会に届出し所有する随伴用自動車１台につき５万円

▼**申請方法**　１月31日（月）までに、「令和３年度弘前市タクシー及び自動車運転代行事業者事業継続支援金交付申請書兼請求書」に必要事項を記入し、添付書類を添えて提出してください。

※詳しくは市ホームページ（QRコード）で確認するか問い合わせを。

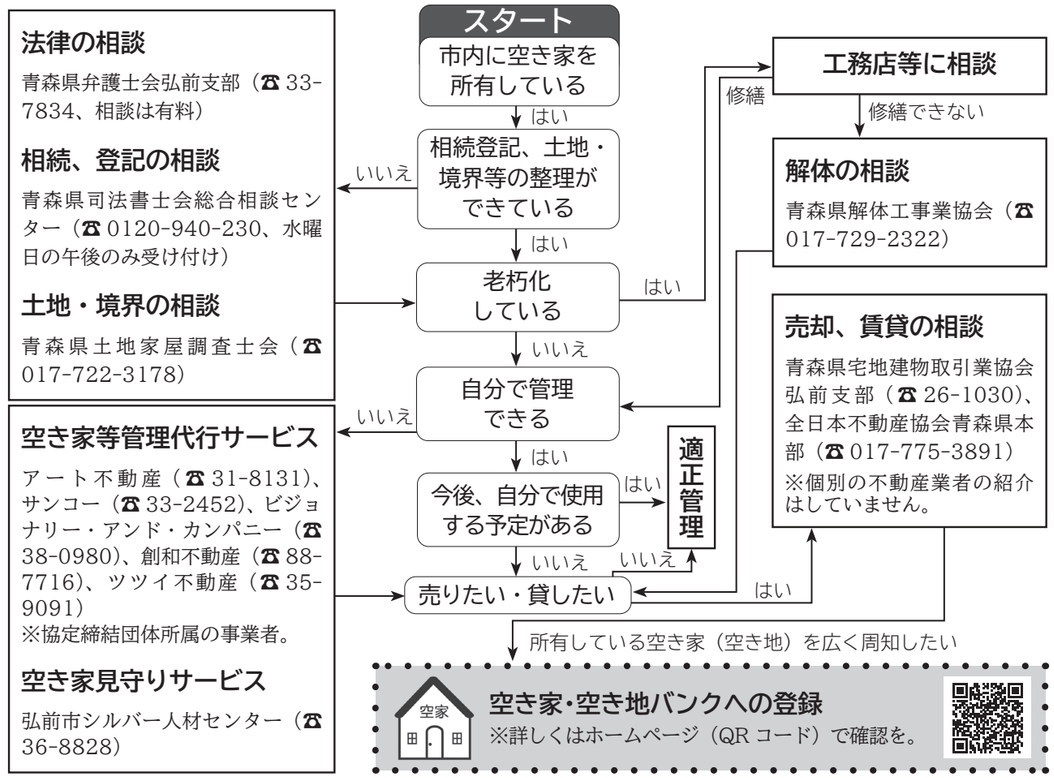
■**問い合わせ先・申請先**　地域交通課（市役所３階、☎35-1124）

どうする!? 空き家

空き家の適正管理と相談先　冬 WINTER

■**問い合わせ先**　建築指導課空き家対策係（弘前圏域空き家・空き地バンク協議会事務局、☎40-0522）

空き家を適正に管理するには、状況や目的に応じた対応方法や相談先を検討する必要があります。このフローチャートでは、空き家の状態や今後どうしたいかを明確にし、それらに適した対応方法と相談先を導きます。**どうすればいいかわからない人は、まずは建築指導課へお問い合わせください。**



暮らしのInformation

広報ひろさきに掲載した各種催しについて

広報ひろさきに掲載した各種催しや教室などは、新型コロナウイルスの感染予防と拡大防止の観点から、中止や内容が変更となる場合がありますので、ご了承ください。詳しくは市ホームページまたは各問い合わせ先で確認を。

催しなどに参加する際は、マスクを着用するなど、感染症対策へのご協力をお願いします。

イベント

弘前工芸舎企画展「冬の贈り物」展

冬の贈り物に、心温まる工芸品はいかがですか。いつもの贈り物に小さなクラフトを添えるだけで、素敵なプレゼントに変わります。

▼**とき**　12月16日（木）～26日（日）の午前10時～午後4時
▼**ところ**　藤田記念庭園考古館（上白銀町）2階ギャラリースペース
▼**入場料**　無料
問産業育成課（☎32-8106）

ヒロロスクエアのイベント

【ヒロロスクエア　クリスマス☆フェスティバル】
▼**とき**　12月19日（日）
午前11時～午後3時
▼**ところ**　ヒロロ（駅前町）3階イベントスペース
▼**内容**　ものづくりワークショップ（キャンドル、こぎん刺し、レジンアクセサリー、木工、アルコールインクアート、ペーパークラフト、アイシングクッキー、ニットリース、レザー）、クラフト雑貨やお菓子などの販売
※事前の申し込みは不要。

【親子 de 木育寺子屋】
▼**とき**　1月8日（土）、①午前10時30分～11時30分／②午後1時30分～2時30分
▼**ところ**　ヒロロ（駅前町）3階イベントスペース
▼**内容**　木育についてのお話とものづくりワークショップ（パネルシアター「森のおはなし」、木製玩具の紹介、木のおもちゃカメラ作りなど）
▼**対象**　乳児～おおむね3歳までの子どもとその保護者＝各回15組
▼**参加料**　無料
▼**申し込み方法**　12月18日（土）の午前8時30分以降に電話または市民文化交流館窓口（ヒロロ3階）で申し込みを。

詳しくはヒロロスクエアホームページ（http://www.hirorosquare.jp/）でご確認ください。
問市民文化交流館（☎35-0154、午前8時30分～午後9時）

弥生いこいの広場写生大会入賞作品展

市内小学校の児童が描いた作品約80点を展示します。可愛らしく描かれた弥生いこいの広場の動物の絵をご覧ください。
▼**とき**　1月4日（火）～10日（月・祝）
▼**ところ**　イトーヨーカドー弘前店（駅前3丁目）地下通路
▼**観覧料**　無料
問市みどりの協会(☎33-8733)

中学生・高校生のための企業訪問体験プログラム

地域の企業を訪問し、事業の体験と従業員との交流を通じて、地域で働くことについて考えてみませんか。
▼**とき**　1月7日（金）
午後1時～4時30分
▼**集合場所**　市役所中庭（バス等で企業に移動します）
▼**訪問企業**　コーア（地域未来けん引企業）
▼**内容**　抗菌性や耐久性に優れた同社のメッキ技術を体験し、抗菌メッキを施したマスクケースの製作体験を実施
▼**対象**　市内在住または市内の中学校・高校に在学する生徒＝8人
▼**申し込み方法**　12月28日（火）までに、電話またはEメール（氏名・学校名・学年・電話番号を記入）で申し込みを。
問企画課ひとづくり推進室（☎26-6349、E kikaku@city.hirosaki.lg.jp）

こどもの森1月の催し

【月例登山「新春登山」】
▼**とき**　1月9日（日）、午前9時30分～午後2時30分
▼**対象**　登山の経験があり、冬山登山の装備で参加できる人
▼**参加料**　無料
▼**持ち物**　飲み物、昼食、替えの下着・靴下、雨具、防寒着
※事前の申し込みが必要。

【冬期開館日】
毎週土・日曜日と祝日、小・中学校の冬休み期間（12月29日～1月3日を除く）
問こどもの森ビジターセンター（坂元字山元、久渡寺境内、☎88-3923）／市みどりの協会（☎33-8733）

岩木図書館開館40周年記念イベント　本の交換会

本との新たな出会いを作るイベントです。
▼**とき**　1月15日（土）
午後1時30分～5時
▼**ところ**　中央公民館岩木館（賀田1丁目）2階大研修室
▼**内容**　読まなくなった本などを1人3～5冊ほど持ち寄り、同冊数を交換し合います。
※事前の申し込みは不要。
▼**その他**　持ち込みは1冊でも可。ただし、汚れや損傷が激しい本はご遠慮ください。
問岩木図書館（☎82-1651）

教室・講座

第1回市立博物館歴史講座

▼**とき**　1月22日（土）、午後2時～3時15分頃
▼**ところ**　市立博物館（下白銀町）
▼**テーマ**　戦国末～藩政期津軽の女性史
▼**講師**　長谷川成一さん（弘前大学名誉教授）
▼**定員**　50人（先着順）
▼**参加料**　無料（別途観覧料が必要）
▼**申し込み方法**　12月21日（火）以降に、電話で申し込みを。
問市立博物館（☎35-0700）

弘前城雪燈籠まつり

2月10日（木）～13日（日）

オープニングセレモニー　2月10日（木）、午前10時～

弘前公園を会場に市民手づくりのまつり「弘前城雪燈籠まつり」を開催します。

今年の大雪像は北海道函館市の**「旧函館区公会堂」**です！また、昨年に引き続き、大雪像へのプロジェクションマッピング投影や津軽錦絵大回廊、りんご箱×キャンドルアート等を実施するほか、新たな取り組みとして、HIROSAKIスノーオブジェを制作します。
※新型コロナウイルスの感染防止対策を講じた上で開催しますので、ご理解とご協力をお願いします。

雪燈籠制作者を募集

①雪燈籠、②中雪像、③ミニ雪像、④雪だるまの制作者を募集します。
▼**制作期間**　2月2日（水）～9日（水）
▼**参加条件**　制作費・用具などは制作者が準備し、制作期間内に完成させること
▼**制作内容**
①雪燈籠の制作者には、型枠、制作マニュアルを用意
②中雪像の制作者は、主催者が設ける幅3m、高さ4mの雪柱を素材に制作
③ミニ雪像の制作者には、型枠を用意。高さ2mの雪像を制作
④雪だるまの制作者は、高さ約1.5mのものを制作
※制作場所はまつり運営委員会が指定し、配置図を後日送付します。
▼**申し込み方法**　1月7日（金）までに、弘前城雪燈籠まつり運営委員会（市役所5階、観光課内）へ申込書の提出を。申込時に必要な書類は、次のURL（https://www.hirosaki-kanko.or.jp/web/edit.html?id=cat02_winter_yuki）からダウンロードできます。
問観光課誘客推進係（☎40-0236）

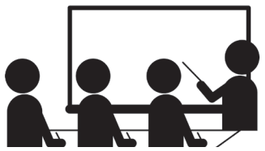
周波数は78.8MHz　FMアップルウェーブ
── 新春特別番組 ──
「弘前市長　新春に語る」
ON AIR
▼**放送時間**　1月1日（土・元旦）、正午～

健康サポート教室～太極拳～

自然呼吸でゆっくり体を動かし、日常生活に必要な筋肉を鍛えることで、体の免疫力を高めます。

▼**とき**　①1月17日（月）、②1月31日（月）の午後2時～3時
▼**ところ**　温水プール石川（小金崎字村元）研修室
▼**講師**　鹿内武次さん（弘前市武術太極拳連盟）
▼**対象**　65歳以上の市民＝各回12人（先着順）
▼**参加料**　無料
▼**持ち物**　内履き、タオル、飲み物、動きやすい服装
※事前の申し込みが必要。
問①は12月20日（月）から、②は1月8日（土）から、温水プール石川（☎49-7081、午前9時～午後5時）へ。

柴田学園大学短期大学部公開講座



▼**とき**　①1月14日（金）、午後6時～7時30分／②1月15日（土）、午前9時30分～正午／③1月22日（土）、午前9時30分～10時30分／④1月29日（土）、午前10時～11時30分／⑤1月29日(土)、午前9時30分～11時30分
▼**ところ**　柴田学園大学短期大学部（上瓦ケ町）
▼**講座名**　①人を創る起業とは～株式会社SEN-BUの事例～、②おうち時間を楽しく！肉まん・あんまん作り、③WordPressを使ってかんたんホームページ作成、④心理学入門～こんなテストは嫌だ！人間は何をどう評価されるべきか～、⑤こだわりトマトソースでピザを作りましょう！
▼**対象**　①・④高校生以上＝人数制限なし、②・⑤高校生以上＝16人、③高校生＝4人
▼**受講料**　①・③・④＝無料、②＝500円、⑤＝700円
▼**申し込み方法**　①は1月7日（金）までに、②は1月8日（土）までに、③は1月15日（土）までに、④･⑤は1月22日（土）までに、ホームページ、Eメールまたはファクス（希望講座名・氏名・住所・電話番号を明記）で申し込みを。
※応募多数の場合は抽選で決定／受講者にはがきで受講票を送りますので、当日持参を／出前講座も行っています。詳しくはホームページで確認を。
問柴田学園大学短期大学部（☎32-6151、F32-6153、E jc_chibunsen@shibata.ac.jp、H https://jc.shibata.ac.jp/）

弘前地区環境整備センタープラザ棟の催し

【「こぎんの基礎を学ぼう」体験教室】

▼**とき**　①1月22日（土）…基礎刺し（初心者向け）、②1月30日（日）…ふくろうミニタペストリー作り（経験者向け）／両日ともに午前9時30分～正午
※①・②のいずれかを選択。
▼**講師**　佐藤陽子さん（佐藤陽子こぎん展示館館長）
▼**対象**　①小学校4年生以上、②こぎん刺しの経験がある小学校4年生以上＝各回10人
▼**申込期限**　1月7日（金・必着）
※応募多数の場合は抽選で決定し、1月14日（金）までに抽選結果をお知らせします。

【プロが教えるかんたん楽しいバレンタインエコクッキング教室】

▼**とき**　2月5日（土）、午前9時30分～正午（調理・片付けを含んだ時間です）
▼**メニュー**　冷凍パイで作るクラムクーヘン（チョコをトッピング）、残り野菜で作るドライカレー、フレッシュサラダ（ドレッシングで一工夫）、いちごのジュース
▼**講師**　福士るみ子さん（サロン・ド・胡桃代表）
▼**対象**　小学生以上＝10人（小学生は保護者の同伴が必要）
▼**持ち物**　米0.5合、大皿1枚（直径25cm程度）、エプロン、三角巾、ふきん
▼**申込期限**　1月20日（木・必着）
※応募多数の場合は抽選で決定し、1月27日（木）までに抽選結果をお知らせします。

～共通事項～

▼**ところ**　弘前地区環境整備センタープラザ棟
▼**参加料**　無料
▼**申し込み方法**　往復はがきに教室名・住所・氏名・年齢・電話番号を記入の上、郵送を。
※往復はがき1枚につき2人まで応募できます。
詳細はホームページ（QRコード）をご覧ください。
問弘前地区環境整備センタープラザ棟（〒036-8314、町田字筒井6の2、☎36-3388、受け付けは午前9時～午後4時、月曜日〈月曜日が祝日の場合は翌日〉は休み）

弘前市民・少年少女スキー教室

▼**とき**　1月8日（土）・9日（日）、午前10時～午後3時
▼**ところ**　大鰐温泉スキー場国際エリア（大鰐町虹貝字清川）
※現地集合、現地解散／受け付けは雨池スキーセンター2階にて午前9時より。
▼**講師**　SAJ全日本スキー連盟公認指導員（弘前スキー倶楽部所属）
▼**対象**　小学生以上の市民（初心者からエキスパートまで）
▼**受講料**　3,000円（2日間の講習料、スポーツ傷害保険料を含む）
▼**申し込み方法**　12月16日（木）～1月4日（火）に、弘前市スポーツ協会（下白銀町、笹森記念体育館内）またはタケダスポーツ弘前バイパス店（城東北4丁目）もしくはスーパースポーツゼビオ弘前バイパス店（高田5丁目）へ申し込みを。
▼**その他**　受講料は当日受付時に徴収／講習時間と内容は班分けによって異なる場合があります／最終日にジュニアテスト（3級以下）を予定。級別テスト、ジュニアテスト（1・2級）は後日予定／講習時のリフト券、スキー用具等は各自で用意を
問弘前スキー倶楽部事務局（☎080-4519-2611）

休日在宅当番

内　科
診療時間…午前9時～正午

1/2	沢田内科医院（茂森新町1）	☎37-7755
9	さがらクリニック（桔梗野1）	☎37-2070
16	場崎クリニック（代官町）	☎38-6600
23	弘前温泉養生医院（真土）	☎82-3377
30	小堀クリニック（中野2）	☎32-7146

耳鼻いんこう科・眼科
診療時間…午前10時～午後4時

1/1	たかはし眼科（紺屋町）	☎31-3456
	いくこ耳鼻科クリニック（南瓦ケ町）	☎33-6373
2	ESTクリニック（福村）	☎29-5500
	あきた耳鼻咽喉科クリニック（南城西2）	☎32-2332
3	おおた眼科（駅前町）	☎38-2333
	なんば耳鼻咽喉科（高田5）	☎55-8749
9	加藤眼科クリニック（田町5）	☎31-3711
23	宮園耳鼻科クリニック（宮園5）	☎39-1133

歯　科
診療時間…午前10時～午後4時

1/1	小泉歯科医院（高屋）	☎82-3232
	秋元歯科クリニック（大開2）	☎88-1513
2	福原歯科医院（上鞘師町）	☎37-3535
	オリオン歯科クリニック（元寺町）	☎33-0418
3	工藤歯科医院（石川）	☎92-2330
	あべ歯科医院（青山3）	☎37-3737
9	副島歯科医院（稔町）	☎38-7272
10	代官町クリニック吉田歯科（代官町）	☎38-4142
16	安原田中歯科医院（安原3）	☎37-7311
23	第一ファミリー歯科（城東中央3）	☎28-1888
30	竹沢歯科クリニック（松原西3）	☎88-1717

◎予定が変更となる場合がありますので、受診の際は事前に弘前市医師会・弘前歯科医師会ホームページや休日在宅当番医に電話でご確認ください。

◎上記のほか、市急患診療所（野田2丁目、☎34-1131）で、内科・外科・小児科の診療を行っています。
①休日…午前10時～午後4時
②夜間…午後7時～10時30分
※夜間は内科と小児科のみ診療。
◎休日当番の割り当てがない日や急患診療所の受付時間外は、医療機関紹介電話（☎32-3999）へお電話ください。

有料広告　有料広告

地域未来創生塾@中央公民館

大学教員や学生からの話題提供や資料を使った、地域づくり活動に役立つ講座やワークショップです。

▼**とき**　1月12日（水）＝第7回「新しいメディアとのつき合い方―歴史学から考える―」／1月26日（水）＝第8回「若者の恋愛・性行動―少子化の要因を根源から考える―」
※時間はいずれも午後6時30分～8時。
▼**ところ**　ヒロロ（駅前町）3階多世代交流室2
※会場でパブリックビューイングを開催するほか、Zoomによるオンライン形式でも開催。
▼**講師**　第7回＝永本哲也さん（弘前大学人文社会科学部助教）／第8回＝羽渕一代さん（同大学同学部教授）
▼**対象**　市内および近隣市町村に住む高校生以上＝30人
▼**参加料**　無料
※事前の申し込みは不要。
▼**その他**　6回以上参加した人に、修了証を交付します。オンラインでの参加を希望する人は、各自Zoomアプリ（無料）をダウンロードしてください。
※詳しい内容は弘前大学人文社会科学部地域未来創生センターホームページ（http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/irrc/）をご覧ください。
問弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター（☎39-3198、平日の午前9時15分～午後5時）／中央公民館（☎33-6561、火曜日は休み）

市民ボランティアによるパソコン講座

【エクセル2019入門講座】
▼**とき**　1月17日・24日・31日（いずれも月曜日）の午前10時～午後3時
※3日間で1セットの講座。
▼**ところ**　総合学習センター（末広4丁目）
▼**内容**　表計算ソフト（エクセル2019）を使用した基本的な操作技術の習得
※エクセル2019以外のバージョンを使っている人は操作方法が異なる場合があります。
▼**対象**　文字入力およびキーボード・マウスの操作（ウィンドウズの基本操作）ができる市民＝16人（先着順）
▼**参加料**　無料
▼**持ち物**　筆記用具、USBなどのメモリ、昼食
問12月19日（日）以降に、学習情報館（総合学習センター内、☎26-4800）へ。

食生活改善推進員養成講座

▼**とき**　1月28日（金）・2月4日（金）・14日（月）・22日（火）、午前10時～午後3時（全4回）
▼**ところ**　弘前市保健センター（野田2丁目）2階大会議室、栄養指導室

▼**内容**　食育と健康づくり、生活習慣病予防について、食品衛生、バランス食、栄養計算など（調理実習、試食あり）
▼**対象**　全日程を受講でき、講座修了後に食生活改善推進員として食育等のボランティア活動に参加できる市民＝10人（先着順）
※託児あり（2人まで）。
▼**受講料**　1,760円（テキスト代として）
問1月14日（金）までに、健康増進課健康づくり総合推進担当（☎37-3750）へ。

第2回自動車整備技能登録試験対策講習

在職中の人を対象に試験対策講習を実施します。
▼**とき**　2月14日（月）・16日（水）・18日（金）・21日（月）・24日（木）の午後6時～9時
▼**ところ**　弘前高等技術専門校（緑ケ丘1丁目）
▼**定員**　10人
▼**受講料**　1,300円
▼**申込期限**　1月21日（金）
▼**申し込み方法**　ファクス、郵送または電話で申し込みを。
※受講申込書はホームページからダウンロードできます。詳しくはホームページで確認を。
問弘前高等技術専門校（☎32-6805、F35-5104、H https://www.pref.aomori.lg.jp/sangyo/job/hi-gisen_zaishokusha.html）

有料広告

いのっちに年賀状を出そう

市立博物館マスコットキャラクター「いのっち」に年賀状を出しませんか。お返事が届きますよ。
▼**送り先**　〒036-8356、下白銀町1の6、いのっち宛
問市立博物館（☎35-0700）

その他

令和3年度二十歳の祭典（成人式）の入場券を発送

弘前市成人式への参加を申し込んだ人に、入場券を発送しました。申し込みをしたにもかかわらず入場券が届かない人や、参加申し込みを忘れていた人はお問い合わせください。

詳細は市ホームページ（http://www.city.hirosaki.aomori.jp/oshirase/kyouiku/2021-0816-1301-70.html）をご確認ください。
問生涯学習課（☎82-1641）

喜望のコンクール絵画作品募集！

市内の中学生・高校生の実行委員会が企画した絵画コンクールを開催します！楽しく描いた作品を応募してみませんか。
▼**募集テーマ**　「自分の夢」「好きなこと」
▼**対象**　市内在住もしくは市内に通園・通学している子ども（高校生まで）
▼**部門**　①小学生未満の部、②小学生の部、③中学生の部、④高校生の部、⑤共同製作の部（小学生未満、親子）
▼**応募規定**　おおよそA5以上B4以下の白色の画用紙（長方形のまま使用）に自由な画材で描いたもの
※自作・未発表で手描きの絵画作品に限ります。
▼**応募期限**　1月16日（日）、午後5時まで
▼**応募方法**　応募用紙に必要事項を記入し、応募用紙と作品票を作品に添えて、中央公民館に持参または郵送してください。
※応募用紙と作品票はホームページでダウンロードできるほか、市立公民館、市役所総合案内、市民文化交流館窓口（ヒロロ3階）に設置しています。
▼**賞**　各部門金賞1人、銀賞2人、銅賞2人、参加賞（1人1つ）
※受賞作品は2月12日（土）・13日（日）にヒロロ3階イベントホールで展示します。

詳細はホームページで確認を。
問喜望のコンクール実行委員会事務局（中央公民館内、〒036-1313、賀田1丁目18の3中央公民館岩木館2階、☎33-6561、E chuuoukou@city.hirosaki.lg.jp、火曜日は休み、H http://www.city.hirosaki.aomori.jp/chuokominkan/）

ひろさき広域出愛サポートセンター休日登録会

結婚を希望する独身男女のお見合いを支援しています。会員登録しませんか。
▼**とき**　12月26日（日）正午～午後4時
※事前の申し込みは不要。
▼**ところ**　ヒロロ（駅前町）3階多世代交流室A
問ひろさき広域出愛サポートセンター（☎35-1123〈日・月曜日、祝日を除く、午前10時～午後7時〉）

水道管の凍結にご注意

気温が－4℃以下になると、水道管の凍結や、蛇口が破裂するおそれがあります。こまめに水道の水抜きを行って凍結を防ぎましょう。水抜き栓は水を抜くときは全閉、通水するときは全開になるよう、しっかり確認してから操作してください。

水道管が凍結して溶けなかったり、破裂したりした場合は、市の指定給水装置工事事業者か弘前管工事業協同組合（☎32-7309）に依頼してください。
問上下水道部営業課給排水係（☎55-6895）

緑化推進活動に助成金

令和4年に市民団体などが自主的に行う非営利活動に対して助成金を交付します。
▼**実施場所**　市内（緑化教育活動の場合は市外でも可）
▼**対象経費**　苗木・種子・支柱・肥料等の緑化資材購入費（緑化教育活動の場合は、交通費、講師謝礼を含む）
▼**助成額**　3万円を上限とした対象経費の全額（助成額を調整する場合あり）
▼**申請受付期間**　1月4日（火）～18日（火）
問農村整備課（☎40-7103）

人の動き Population

		前月比
・人口	166,717人	（−152）
男	76,303人	（-40）
女	90,414人	（−112）
・世帯数	72,319世帯	（-38）

令和3年11月1日現在（推計）

弘前市市民活動保険制度

市では「弘前市協働によるまちづくり基本条例」に基づいて、市民の皆さんが安心して地域活動やボランティア活動を行うことができるように、事前の申し込みが不要の保険制度を実施しています。

▼**対象**　市内に活動の本拠地を置く市民団体が行う活動に参加するボランティア、スタッフ

▼**補償内容**　○傷害保険…活動者自身が活動中に事故でけがをしたとき（事故発生から180日以内の死亡、後遺障害、入院、通院に限る）＝2,000円～500万円／○賠償保険…活動者または活動団体の過失により、他人にけがをさせたり、他人のものを壊して、その人から損害賠償を求められ、法律上の賠償責任を負う場合＝1事故最大2億円

▼**その他**　保険金の請求には、具体的な活動内容や事故の状況などの書面の提出が必要です。

問市民協働課（☎40-7108）

し尿くみ取り業者の変更

1月1日から市内一部のし尿くみ取り業者が変更となります。現在、中弘衛生企業組合（☎55-8661）を利用している人は、津軽衛生公社（☎37-3338）に変更になりますので、ご注意ください。

引継ぎ等は業者同士で随時行っていますので、不明点などがありましたら、業者にお問い合わせください。

問環境課（☎35-1130）

12月は食品ロスが増えます

食品ロスとは本来食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。12月はイベントや外食等により、食品ロスが発生する機会が多くなります。食品ロス削減のためには、事業者側の取り組みだけではなく、食品小売店舗・飲食店などを利用する消費者側の食品ロス削減への理解と協力が不可欠です。

日頃の買い物の中で、購入してすぐに食べる場合は、商品棚の手前にある商品等、販売期限の迫った商品を積極的に選ぶ「てまえどり」を実践してみましょう。販売期限が過ぎて廃棄されることによる食品ロス削減効果が期待されます。

また外食時、特に宴会等の際には、適量を注文し、乾杯後30分間と終了前10分間は席を立たずに料理を楽しむ3010（さんまるいちまる）運動を心掛けましょう。

市ではこれらの取り組みを広めるため、食品小売店舗・飲食店等の協力のもと、店頭で啓発資材を掲示しています。見かけたらぜひ協力をお願いします。

問環境課（☎35-1130）

まだ使える不用品をリユース（再利用）しませんか

【ひろさきリユース促進掲示板】

家庭で不用になった生活用品の情報を登録し、必要とする人に紹介する制度です。品物を譲りたい人、譲ってほしい人の双方が利用できます。

▼**利用できる人**　市内在住の満20歳以上で、営利を目的としない人

▼**対象となるもの**　家具、衣類、日用雑貨品、玩具、書籍、教養娯楽品などの生活用品で、現状利用可能なもの

最新の登録情報を市ホームページで公開していますのでご覧ください。

このほか、リユースショップ、フリマアプリ、ジモティー、市で設置する衣類回収ボックスなどもありますので、併せてご利用ください。

問環境課廃棄物政策係（☎32-1969）

肝臓も週休2日！ 適正飲酒を心がけましょう

問健康増進課（☎37-3750）

「酒は百薬の長」と言われますが、それは適量を飲んだ場合です。年末年始は飲酒の機会が増えますが、多量飲酒は万病の元です。飲酒量が多いほど、また飲酒期間が長いほど、アルコール性肝臓病にかかりやすくなります。

また、女性や高齢者、アルコールで皮膚が赤くなる体質の人はアルコールの分解が遅く、がんやさまざまな臓器障害を起こしやすいため、特に飲酒量に注意が必要です。

適正飲酒を心がけ、健康で楽しい生活を送りましょう。

1日の適量（純アルコール＝20g）

ビール	500ml（中瓶1本）
ウイスキー	60ml（ダブル1杯）
ワイン	180ml
焼酎（25度）	120ml
日本酒	180ml（1合）

適正飲酒のポイント

- 薄めて飲む
- 食事と一緒にゆっくりと飲む
- 週に2日は休肝日を設ける
- 合間に水を飲む（脱水防止）

歯科健診を受けましょう

後期高齢者医療制度に加入している人を対象に、1年に1回無料で受けられる歯科健診を実施しています。歯・口のはたらきの衰えは健康への悪影響を招き、フレイル（心身の虚弱）につながります。歯科健診で歯と口の健康チェックをしてフレイルを未然に防ぎましょう。

▼**実施期間**　3月31日まで

▼**自己負担額**　無料（各年度1回限り）

▼**申し込み方法**　受診する医療機関へ直接ご予約ください（健診実施医療機関は「健康と福祉ごよみ」でご確認ください）。

※受診券は必要ありません。

問国保年金課後期高齢者医療係（☎40-7046）／県後期高齢者医療広域連合（☎017-721-3821）

巡回子宮・乳がん検診

40歳以上の偶数歳の女性を対象とした、検診車による集団検診です。電話で申し込みを（定員に達し次第締め切ります）。

▼**とき**　1月16日（日）、受付＝午前9時～10時

▼**ところ**　弘前市保健センター（野田2丁目）

問健康増進課（弘前市保健センター内、☎37-3750）

血圧記録手帳を無料配布

市では「①健（検）診を受ける、②家庭血圧を測る、③減塩を心がける」を高血圧予防の3つの柱に掲げ、市民の皆さんの主体的な高血圧予防への取り組みを後押ししています。

寒くなると血管が収縮するため、血圧が上がりやすくなります。高血圧は脳血管疾患など命に関わる病気を引き起こします。この機会に血圧を測り、記録してみましょう。

▼**配布場所**　弘前市保健センター（野田2丁目）1階窓口、ヒロロ（駅前町）3階健康広場

問健康増進課（☎37-3750）

保育士向け就職サポート講座

保育の現場ですぐに活かせる簡単なリトミックを、講師と共に楽しく学んでみませんか。

▼**とき**　1月12日（水）
午前10時～午後1時

▼**ところ**　総合学習センター（末広4丁目）3階第1研修室

▼**内容**　①簡単リトミック講座（講師…佐々木育子さん〈リトミック研究センター〉）、②青森県保育士・保育所支援センター職員による個別相談、③県内の保育所・認定こども園等求人情報の閲覧・紹介

▼**対象**　保育所等で働くことに興味のある人

▼**参加料**　無料

▼**申し込み方法**　1月7日（金）の午後1時までに、QRコードから申し込みを（来場前に青森県保育士人材バンクホームページ〈QRコード〉の確認を）。

問青森県保育士・保育所支援センター（県社会福祉協議会内、☎017-718-2225、E hoiku@aosyakyo.or.jp）

個人住民税の特別徴収の完全実施について

所得税の源泉徴収義務のある事業主（給与支払者）は個人住民税（市民税・県民税）を給与から特別徴収しなければなりません。まだ特別徴収を実施していない事業主や新たに事業を開始した事業主は特別徴収を実施してください。

【個人住民税の特別徴収とは】

所得税の源泉徴収と同様に、事業主が従業員に毎月支払う給与から個人住民税を徴収し、従業員に代わって納入する制度です。なお、個人住民税の税額計算は市が行いますので、所得税のように事業主が計算する手間はかかりません。

【特別徴収のメリット】

○従業員が金融機関等へ出向いて納税する手間が省け、納め忘れの心配がない。

○納期が12回なので、普通徴収に比べて1回当たりの納税額が少ない。

【令和4年度からの特別徴収開始方法】

毎年1月に提出する「給与支払報告書（総括表）」の中の「特別徴収対象者」の欄に対象者数を記入し、「給与支払報告書（個人別明細書）」を仕切り紙により「特別徴収」と「普通徴収」に分けた上で、市民税課へ提出してください。

問市民税課市民税第一係（市役所2階、☎40-7024）

母子父子寡婦福祉資金

来年度に進学を予定している子どもがいるひとり親家庭等世帯を対象に、県では母子父子寡婦福祉資金の貸付予約を受け付けています。

▼**対象**　令和４年度に進学を希望している児童等がおり、経済的理由で進学させることが困難なひとり親家庭等世帯

▼**対象資金**　就学支度資金、修学資金、修業資金

※対象資金の内容や申請条件など、詳細は問い合わせを。

▼**申請期限**　１月31日（月）

※申請には事前相談が必要です。申請から貸し付けまでに１カ月以上かかりますので、早めに電話で予約の上、相談してください。事前相談は生活の状況等を伺うため１時間程度かかります。

問中南地域県民局福祉調整課（☎35-1622）

第11期青森県地球温暖化防止活動推進員（あおもりアースレンジャー）募集

県では、地域の人に対して地球温暖化の知識の普及やエコ活動の紹介・助言をするアースレンジャーを募集しています。地域に密着した活動に取り組みたい人、エコ・省エネに興味のある人はぜひご応募ください。

▼**任期**　令和４年４月１日～令和６年３月31日

▼**応募期限**　１月31日（月・当日消印有効）

▼**要件**　①地球温暖化の現状・対策に関する知識の普及と地球温暖化対策の推進を図るための活動に熱意と識見を有し、積極的に取り組むことができること／②令和４年４月１日現在で満18歳以上であること／③県内に在住、在勤または在学をしていること

▼**応募方法**　申込書に必要事項を記入し、郵送、ファクス、Eメール等で提出を。

※申込書は県ホームページからダウンロードできます。詳しくは県ホームページ（https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kankyo/kankyo/earthranger.html）で確認を。

▼**選考方法**　申込書の記載内容を基に審査・選考します。選考結果は２月下旬頃に応募者全員に通知します。

問県環境生活部環境政策課（☎017-734-9243、F017-734-8065、E kankyo@pref.aomori.lg.jp）

冬期労働災害防止運動

県内では、冬期特有の気象条件による積雪・凍結・寒冷に起因して発生する労働災害が、12月～２月の３カ月間に集中して発生しています。各事業所においては、冬期労働災害防止対策への積極的な取り組みをお願いします。詳しくは青森労働局ホームページ（https://jsite.mhlw.go.jp/aomori-roudoukyoku/）をご覧ください。

問弘前労働基準監督署（☎33-6411）

テレビ受信障害に関する重要なお知らせ

国では、近年のスマートフォンの普及などに伴う携帯電話の通信量の急増、地上デジタル放送への完全移行などを踏まえ、周波数の再編を行っています。

今後、携帯電話事業者が新たに700MHz（メガヘルツ）帯の周波数を使った携帯電話システムの運用を開始することに伴い、電波の影響で、テレビ放送の画像が乱れたり映らなくなったりするなどの受信障害が発生することがあります。

影響の出る可能性がある地域では、携帯電話事業者が設立した「700MHz利用推進協会」の担当者が、家庭への訪問、チラシの配布、対策作業（テレビブースターの交換やテレビアンテナへの対策用フィルタの取り付け）を行うことがあります。

対策作業に費用は一切発生せず、工事業者が費用を市民に請求することはありません。担当者はテレビ受信対策員証を携行していますので、不審に思った際は提示を求め、コールセンターへお問い合わせください。

問700MHzテレビ受信障害対策コールセンター（☎0120-700-012、午前９時～午後10時、年中無休、IP電話等でつながらない場合は、☎050-3786-0700〈有料〉へ）

青森県弁護士会　憲法講演会

変わりつつある日本の安全保障環境について、旧防衛庁の官房長・防衛研究所長や内閣官房副長官補（安全保障・危機管理担当）を歴任した専門家の立場から、わかりやすく解説します。

▼**とき**　１月22日（土）、午後３時～（Zoomウェビナーによるオンライン開催）

▼**講師**　柳沢協二さん（国際地政学研究所理事長、元内閣官房副長官補）

▼**受講料**　無料

▼**参加方法**　青森県弁護士会のホームページ（http://www.ao-ben.jp）をご覧ください。

問あすなろ法律事務所（☎32-5831）

各種スポーツ・体操教室など

時…とき　所…ところ　内…内容　定…定員・対象
¥…参加料　持…持ち物

かけっこ教室

時１月14日～２月４日の毎週月・金曜日、午後４時30分～６時　所河西体育センター　内上手に体を使うための運動や音楽に合わせたトレーニングなど　定市内の小学生＝30人程度　¥無料　持なわとび　問12月28日（火・必着）までに、往復はがき（※）で河西体育センター（〒036-8316、石渡１丁目19の１、☎38-3200）へ。

チェア体操教室

時１月14日～２月25日の毎週金曜日、午前10時～11時　所河西体育センター　内いすに座ってできるストレッチ、音楽に合わせてのリズム体操など　定市民＝８人　¥無料　問12月28日（火・必着）までに、往復はがき（※）で河西体育センター（〒036-8316、石渡１丁目19の１、☎38-3200）へ。

気軽にスポーツ体験教室

時１月14日～３月25日の毎週金曜日（２月11日を除く）、午前10時30分～正午　所岩木B&G海洋センター（兼平字猿沢）　内ソフトバレーボールやラージボール卓球などの軽スポーツの紹介　定市民＝20人　¥無料　問12月23日（木・必着）までに、往復はがき（※）で金属町体育センター（〒036-8245、金属町１の９、☎87-2482）へ。

ゆったり体力UPストレッチ教室

時１月19日～３月30日の毎週水曜日（２月16日・23日を除く）、午後１時30分～２時30分　所市民体育館（五十石町）フィットネスルーム　内ストレッチ体操と簡単な筋トレ、脳トレの紹介　定市民＝12人　¥無料　問12月23日（木・必着）までに、往復はがき（※）で金属町体育センター（〒036-8245、金属町１の９、☎87-2482）へ。

水泳教室（平泳ぎ）

時１月18日～２月３日の毎週火・木曜日、午前10時～11時　所温水プール石川　内平泳ぎの基本練習　定クロールで15m以上泳げる市民＝15人　¥無料　持水着、水泳帽、ゴーグル　問12月27日（月・必着）までに、往復はがき（※）で温水プール石川（〒036-8123、小金崎字村元125、☎49-7081）へ。

市民太極拳教室

時１月７日～２月18日の毎週金曜日、午後３時～４時30分　所笹森記念体育館（下白銀町）武道場　内太極拳の基本　定15人　¥無料　問弘前市武術太極拳連盟（鹿内さん、☎080-1809-1273）

（※）…住所・氏名（ふりがな）・年齢（生年月日）・電話番号・保護者氏名（参加者が未成年の場合）・教室名の記入を。家族や友人同士での参加ははがき１枚で応募可。応募多数の場合は抽選で決定。

共通事項…飲み物、汗拭きタオル、（室内の場合）室内シューズを持参し、運動のできる服装で参加を。各自傷害保険に加入を。詳しくは各施設に確認を。

年末年始の休業など

12月29日（水）～１月３日（月）は、市のほとんどの施設が休みとなります。詳しくは各施設へお問い合わせください。

ごみの収集と施設の休業

年末年始の家庭ごみの収集は、収集日程表のとおり行います。収集日を確認してごみを出してください。なお、ごみ処理施設（環境整備センター・南部清掃工場）は12月31日（金）の正午～１月３日（月）は休業しますので、ごみを直接搬入する際はご注意ください。

▼**直接搬入できるごみ**　環境整備センター＝燃やせるごみ・燃やせないごみ・大型ごみ・容器包装／南部清掃工場＝燃やせるごみ

問環境整備センター（町田字筒井、☎36-3883）／南部清掃工場（小金崎字川原田、☎92-2105）／環境課（☎35-1130）

市民参画センターの休業

12月28日（火）～１月３日（月）は休業します。団体用ロッカー、レターケース、印刷機等を利用する人はご注意ください。

問市民参画センター（駅前町、ヒロロ３階、☎31-2500）

温水プール石川の休場

施設・設備のメンテナンスのため、12月25日（土）～１月14日（金）は休場します。

問温水プール石川（小金崎字村元、☎49-7081）

まちなか情報センターは年末年始も開館

▼**開館時間**　午前９時～午後９時（12月30日～１月１日は午後５時まで）。

問まちなか情報センター（土手町、☎31-5160）

津軽のイベント満載！

津軽広域連合だより

新型コロナウイルス感染症の影響で内容が変更される場合がありますので、開催状況については各問い合わせ先にご確認ください。また、イベントへお出かけの際は、新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力をお願いします。

全日本ずぐり回し選手権大会　黒石市

津軽地方に伝わる雪の上で回す木製独楽（こま）「ずぐり」を、どれだけ長く回せるかの腕前を競う全国大会です。市内外を問わず、子どもから大人までたくさんの人が参加し、グランドチャンピオンを目指します。

▼**とき**　２月上旬（予定）
▼**ところ**　松の湯交流館駐車場（黒石市中町 33）
▼**参加料**　無料
■**問い合わせ先**　黒石こみせまつり実行委員会（黒石商工会議所内、☎ 52-4316）

◀前回大会の様子

板柳町ふるさとセンター　板柳町

「学んで、遊んで、泊まれる」がコンセプトの板柳町ふるさとセンターは、板柳駅から徒歩約 15 分、弘前市からは車で約 30 分。

りんご資料展示室や、りんごを使った草木染・陶芸・樹皮工芸・お菓子作りを体験できる工房のほか、温泉大浴場、足湯、農産物直売所などの施設があります。１人 6,000 円から利用できるコテージは通年営業中です。皆さんのお越しをお待ちしております。

▼**営業時間**　午前８時～午後７時
※各体験等についてはお問い合わせください。
■**問い合わせ先**　板柳町ふるさとセンター（板柳町大字福野田字本泉 34 の６、☎ 72-1500）

市町村イベントカレンダー

とき		イベント名	内容	問い合わせ先
12月	～1月16日	ふじめぐり総選挙2021	対象店舗でのお買い物レシートを集めて応募すると、抽選で賞品が当たる周遊イベント。	藤崎町経営戦略課（☎ 88-8258）
	～1月31日	平川はしご酒スタンプラリー	お酒を楽しみながらお店でスタンプを集め、抽選でコースに応じて豪華賞品をゲット。	平賀はしご酒まつり実行委員会事務局（☎ 44-3055）
	～2月14日	ひらかわイルミネーションプロムナード	中央公園等をイルミネーションでライトアップ。台湾提灯もご覧になれます。	平川市商工観光課（☎ 44-1111、内 2184）
	18日～3月13日	大鰐温泉スキー場オープン	毎週土曜日は１日券が 500 円！また町内の宿泊施設に宿泊された方はリフト１日券無料！	大鰐温泉スキー場管理事務所他（☎ 49-1023）
1月	上旬（予定）	こけし初挽き（黒石市）	正月の恒例行事。白装束を身にまとった工人が、新年最初のこけしを作ります。	津軽こけし館（☎ 54-8181）
	29日	冬のツーリズム「農家蔵ライトアップ」	金屋地区の農家蔵をライトアップ。沿道には約 150 基の灯篭やろうそくが設置されます。	尾上蔵保存利活用促進会（☎ 57-5190）
2月	上旬（予定）	津軽くろいしみんなの雪だるま	地域・職場・家族が一丸となって雪だるまを作ります。雪国ならではの雰囲気が楽しめます。	黒石商工会議所（☎ 52-4316）
	上旬	おおわにアートイベント	大鰐と弘前を結ぶ弘南鉄道と光のアートを組み合わせたイベントを開催します。	大鰐町企画観光課（☎ 55-6561）
	５日・６日（予定）	雪の降るさと2022（黒石市）	雪を使った催しが盛りだくさん。ろうそくを灯したたくさんの雪だるまが会場を彩ります。	津軽伝承工芸館（☎ 59-5300）
	6日（予定）	旧正マッコ市	黒石市内の参加店で早朝に買い物をするとマッコ（お年玉）がもらえます。恒例の福まきも大人気。	黒石商店街協同組合（☎ 53-6030）
	7日	猿賀神社七日堂大祭	柳の大枝を盤上に打ちつけて豊凶を占う柳からみ神事や、ゴマの餅まきが行われます。	猿賀神社（☎ 57-2016）
	11日～13日	冬の田んぼアート	雪原に足跡で巨大な幾何学模様を描きます。ライトアップした際の光と影のコントラストは必見です。	田舎館村企画観光課（☎ 58-2111）
	27日	弘前城薪能振替公演	延期していた伝統芸能「能・狂言」の公演を、弘前市民会館に会場を変更して開催します。※12月11日チケット発売。	弘前城薪能実行委員会事務局（弘前市文化振興課内、☎ 40-7015）

津軽広域連合は、弘前市・黒石市・平川市・藤崎町・板柳町・大鰐町・田舎館村・西目屋村の８市町村により、要介護認定審査・障害支援区分判定審査のほか、各種ソフト事業などのさまざまな事務事業を共同で実施する特別地方公共団体です。

■編集発行　弘前市企画部広聴広報課　〒 036-8551　弘前市大字上白銀町 1-1　☎ 35-1111　ファクス 35-0080
■ホームページ　http://www.city.hirosaki.aomori.jp　■公式フェイスブック　https://www.facebook.com/hirosakicity
※「広報ひろさき」は市の主な施設や市内の金融機関、郵便局、スーパーマーケットなどにも備えてあります。

VEGETABLE OIL INK 広報ひろさきは環境にやさしいインキを使用しています。